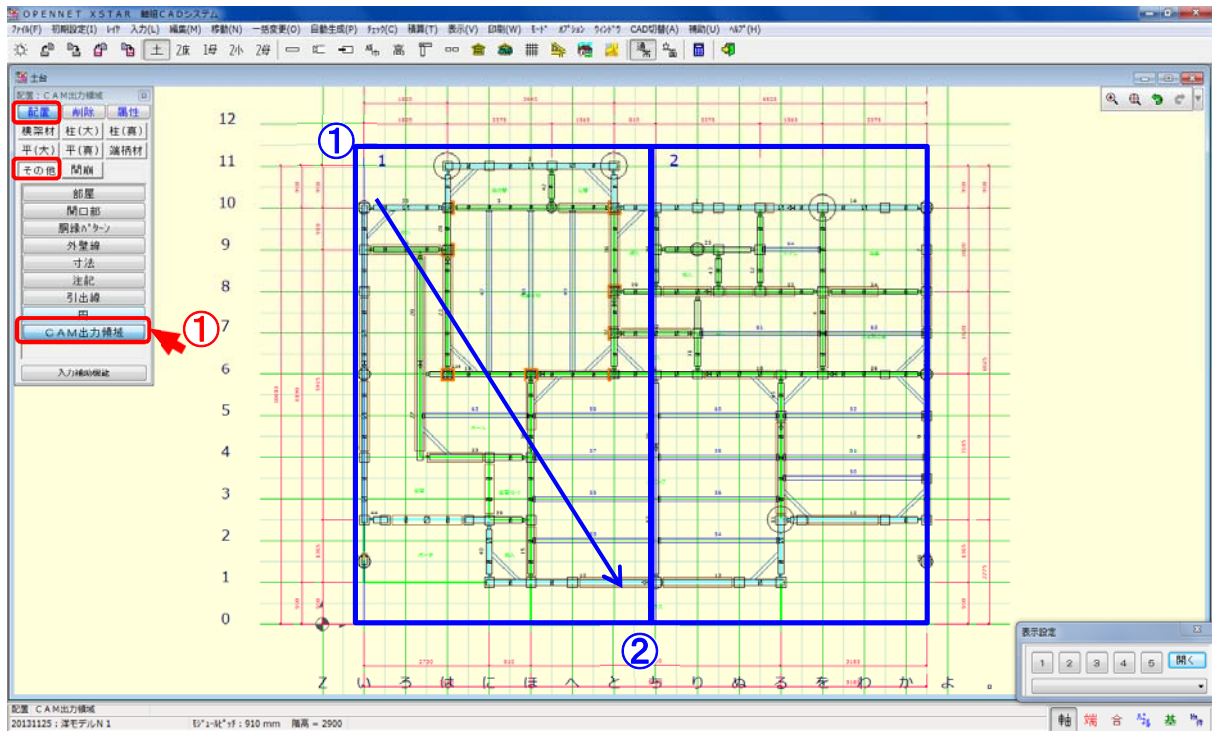


入力物件の許容量の拡張/CAM 領域別保存



入力物件の材データの制限、加工データの材番号の制限をなくし、大型物件にも対応できるようにしました。材番号を超えてしまうような大型物件は、CAM 出力領域を指定して加工データを分けて出力します。

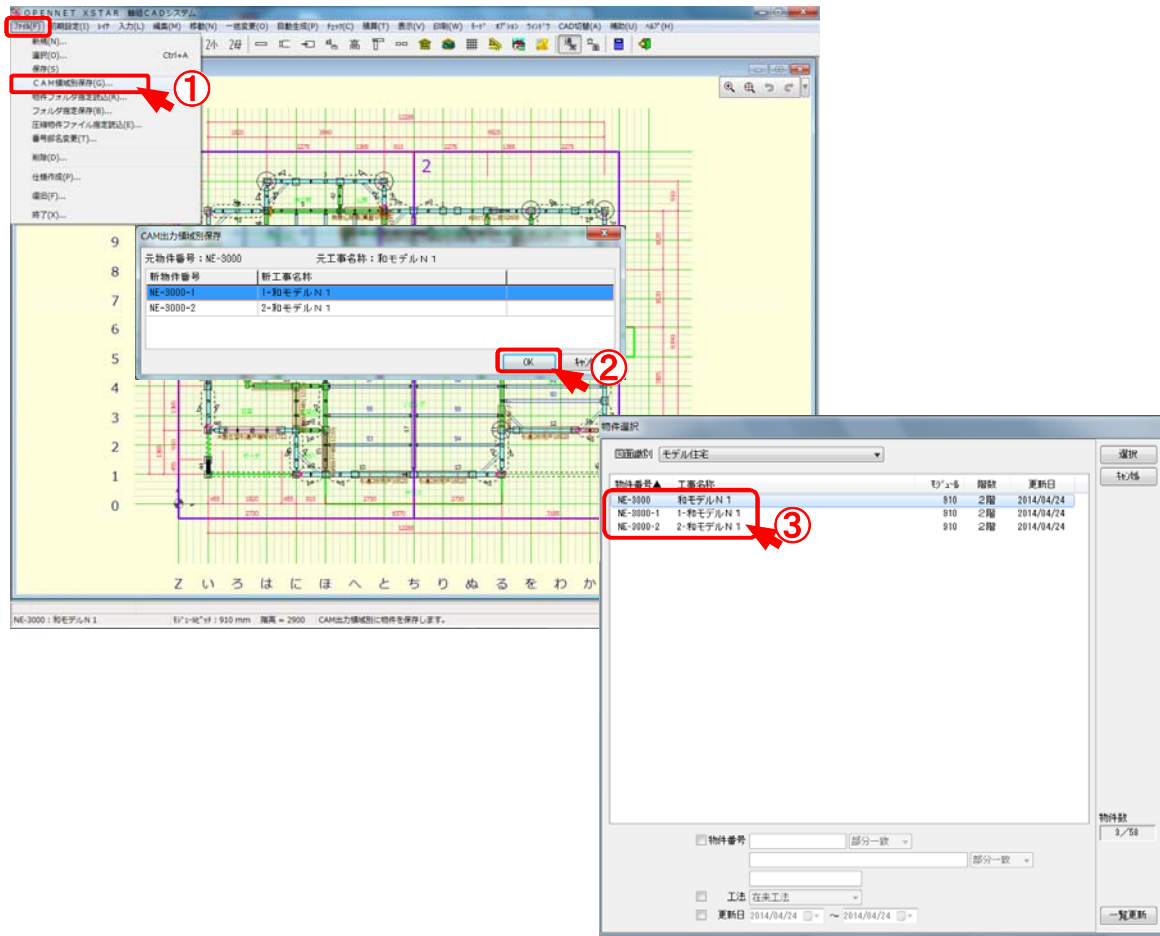
CAM 出力領域の配置方法

- ① [入力-要素]-[その他-CAM 出力領域]を選択します。
- ② ①～②点クリックで 出力領域を配置します。
 ※多角の場合は、角点を①点ずつクリックします。
 軸組 CAD で CAM 出力領域を配置します。



CAM 出力領域は軸組 CAD、端柄 CAD 共通になります。
 合板 CAD、パネル CAD は対応しておりません。

入力物件の許容量の拡張/CAM 領域別保存



CAM 出力領域別保存方法

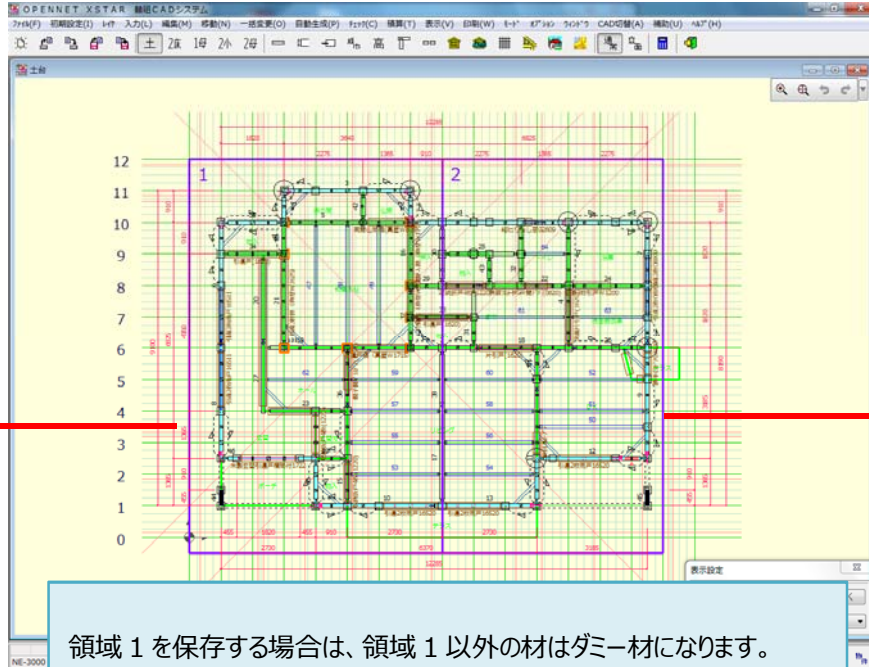
- ① CAM 出力領域を配置後、〔ファイル〕－〔CAM 出力領域別保存〕をクリックします。
- ② CAM 出力領域別保存画面が表示されますので O K をクリックします。
- ③ CAM 出力領域別に物件データが保存されます。

※CAM 領域別に保存した物件データからの CAM 領域別保存はできません。

入力物件の許容量の拡張/CAM 領域別保存

■ 領域別保存の物件名称とデータについて

<親物件> 物件番号 : NE-3000 邸名 : 和モデルN 1



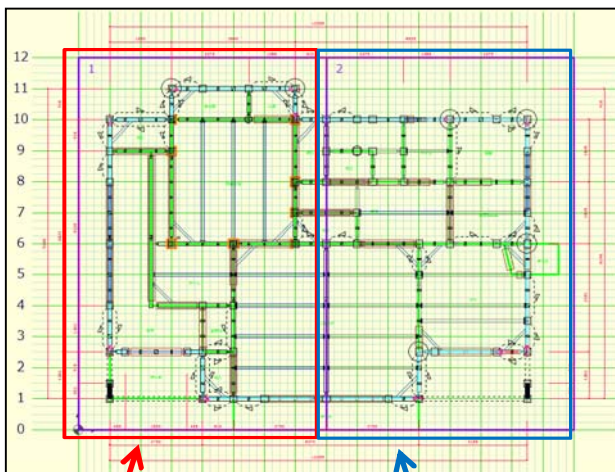
領域 1 を保存する場合は、領域 1 以外の材はダミー材になります。
 領域 2 を保存する場合は、領域 2 以外の材はダミー材になります。
 CAM 出力領域保存時、材番号はそのままになります。

<領域 1 物件> 物件番号 : NE-3000-1

<領域 2 物件> 物件番号 : NE-3000-2

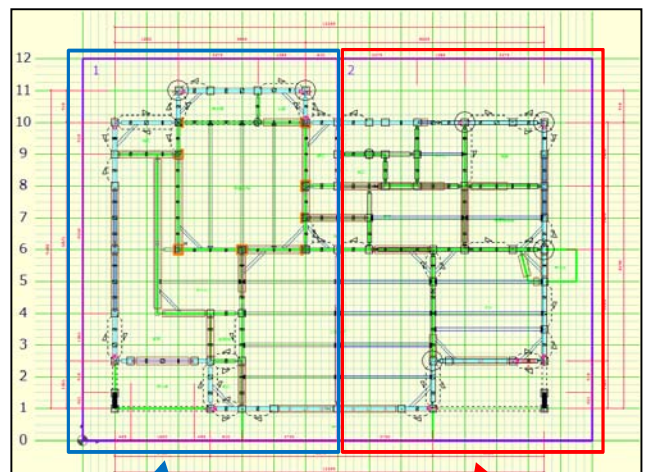
邸名 : 1-和モデルN 1

邸名 : 2-和モデルN 1



材番号はそのままになります。

ダミー材になります。



ダミー材になります。

材番号はそのままになります。

入力物件の許容量の拡張/CAM 領域別保存

○表示要素に CAM 出力領域が追加されています。要素メニューと連動しています。

